

(6) 小麦の品質とお国柄 －欧州・豪州では自国産小麦でパンを－

世界の主要食糧は、米、小麦、とうもろこし、ばれいしょですが、それぞれお国柄が出ています。米は大きくジャポニカ米とインディカ米があり、東南アジアでは、粘りのないインディカ米を主に素手で食べていますし、日本、韓国、北米の一部などでは、粘りのあるジャポニカ米を箸やフォーク、スプーンで食べています。一方、北米大陸や南米大陸の先進国、豪州、欧州諸国では、自国産の小麦を使ったパンを主として食べています。とうもろこしは、中南米諸国や北朝鮮、アフリカ諸国などで、ばれいしょは、北欧やロシア等で主に主食としています。

我が国は、昔から五穀を主食としていました。瑞穂の国のため、稲作文化の発展とともに、米が身分の高い方々より、徐々に主食に代わっていきました。北海道では、稲作の栽培が安定しなかったため、五穀（麦、粟、稗、とうもろこし、きび）とばれいしょ、かぼちゃなどが、開拓以来主食として位置づけられていました。北海道東部の畑作地帯では、戦後もしばらくは、五穀とばれいしょ、かぼちゃなどが主食で、お米には押し麦などを混合して主食とし、昭和30年代後半まで、米、大麦、小麦、きび類、とうもろこし、ばれいしょなど、複数の食べ物を主食に位置づけて食べていました。

そしてまもなく、昭和40年代になりますと、小麦は輸入に依存し、生産が極端に減少するとともに、米を主食とする政策をとる一方、学校給食では、パンを主体とする給食を続けてきました。それまで米は年間1人当たり120kg余りを食べていたのが、米の消費が年々減少し、60数kgとなってしまいました。そのため、米余りとなり、減反政策が昭和40年代半ばより出されました。すなわち、米の生産を一部中止して、休耕または転換畑として推進したのです。

しかし、小麦は90%以上を外国からの輸入に依存しています。国産小麦は主にめん用を使用していますので、主食のパンは、ほとんど輸入小麦に依存しています（米は年間一人当たり62kg、小麦は33kg、小麦の自給率は7%前後）。この小麦のほか、近年、「小麦粉調整品」といわれる、小麦粉に砂糖や

バター、粉ミルク等をミックスしたものの輸入が多くなっています。

ヨーロッパでは、秋まき小麦が赤色系であり、本道産の小麦と品質を比較したものはありませんが、各生産国とも自国産の小麦で、パンを焼いて食べているのです。どうしてもその年が天候不順な場合のみ、海外から輸入し混合使用しています。それぞれの国がその焼き方を研究し、パン製造者に指導しているとの事です。反収は本道平均の約2倍で、自給率も120~200%と高く、十分輸出余力があります。

小麦主産地のオーストラリアでは、どんなパンを食べているのでしょうか。私が訪問した1990年は、五州のどこでも、日本のような食パンや菓子パンはありませんでした。

特に食パンでは、色、柔らかさなどは、日本のものから比べますと、格段の差があり、表現によっては、日本の食パンは“ケーキ”であって、ブレッドではないと思いました。食パン以外のパンも同様で、丸く焼いたパンは、皮が日本のフランスパン以上に固く、お世辞にもおいしいといえるものではありませんでした。それでも食事としては十分で、ホテルでも、レストランでも、モーテルの食事でも同様でした。聞くところによりますと、品質の良い小麦は、優先的に輸出に回し、輸出できないような品質の小麦を、自国で消費するようにしているとのことでした。

我が国でも、品質について、世界一おいしいものを消費するのも結構ですが、おいしく、機能的なものや栄養的に優れたもの、環境に優しいものなどに、目を向ける必要があるのではないのでしょうか。21世紀初頭には、世界の人口が70億に達すると言われてますし、アフリカ諸国等では、現在でも食糧不足で餓死者が出ているのです。ここでもう少し、我々の食生活を見直して見ることも、良いのではないのでしょうか。

最近では、世界各地に旅行している方が多いのです。それらの皆さんは、各国のパンを消費した経験を持っており、マスコミに宣伝されているような、輸入小麦によるパンやうどんを、消費者がどれだけ望んでいるのでしょうか。そんなに多くは望んでいなく、国産を求める消費者が、年々多くなっているのも事実です。ただ、現在、消費者が希望しても、原料の小麦生産ができていないことが、大きな問題点です。したがって、今、北海道に求められ

ているのは、パン用の多収で安定生産が出来る品種を育成することです。本年、「春よ恋」「北見春59号」が育成されましたが、その評価はこれからです。

現在、北農試、北見農試を中心に、上川、十勝、中央の各農試で鋭意品種改良に取り組んでいますが、消費者に喜ばれる品質と農家に歓迎される安定多収品種が早急に育成されることが望まれます。

<佐藤 久泰>